【メディサイエンスプラニンググループ マテリアリティ及びKPI】

区分	課題	マテリアリティ		具体的な取り組み		定量目標	SDGｓ
S	企業価値を高める人材の育成	教育研修の充実	医薬品開発ならではの高度な専門知識の習得に努めるとともに、環境の変化に柔軟に活躍できる人材を育成し、活力ある組織づくりに取り組んでいきます	階層別研修・専門職研修の充実	長期に活躍できる人材の育成に向けて、階層別研修、専門職研修の充実に努めていきます	・研修制度の充実（研修プログラムの拡充　2027年までに＋10プログラム） ・新入社員1名につき1名以上のチューターを選出 （新入社員の早期適応とチューター社員の指導力向上）	
				アテンディングCRAの認定	CRAとしての専門的なスキルを持つ人材をアテンディングCRAとして認定しています		
				チューター制度の導入	チューター制度を導入し、新入社員の早期育成および先輩社員のリーダーシップの醸成を図り、チームワークの強化に繋げていきます		
		キャリア形成支援	社員一人ひとりのキャリア形成及び成長に向けて柔軟にチャレンジできる環境を提供し、社員の主体性を促進していきます	社内インターンシップ制度の導入	他部門の業務に関心のある社員が、より詳細な業務についての理解を深め今後のキャリア形成に役立てることを目的として、社内インターンシップ制度を導入しています	・社内インターンシップ制度の利用率20%UP（2024年度と比較して20%UP※2027年度までに） ・キャリア相談窓口への相談件数20%UP（2025年度と比較して20%UP ※2028年度までに）	
				キャリア相談窓口の設置	社員1人ひとりのキャリア形成を支援するため、キャリア相談窓口を設置し、より働きがいのある職場づくりに努めていきます		
	多様かつ公平な社会への貢献	DEIの推進	時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の実現及びノーマライゼーション社会の実現に向けて取り組んでいきます	在宅勤務制度/短時間勤務制度/時間単位の有給休暇制度	育児や介護など仕事と家庭生活の両立に一定の事由を抱える社員を対象に、小学校卒業まで短時間勤務を認めております、また、全社員を対象に、在宅勤務制度および時間単位の有給休暇制度を適用し、柔軟で働きやすい環境づくりに努めています	・従業員代表との意見交換会の実施（年2回） ・女性管理職比率：40%（2030年度までに） ・男性育休取得率：現在の高い水準（2023年度：67.7%、2024年度70.0%）を維持	
				障がい者雇用/高齢者雇用	障がい者や高齢者をそのまま受け入れ、健常者と分け隔てなく活躍できる環境づくりに努めていきます		
				処遇の公平性	属性や事情などによる処遇の差異はありません		
	健康経営の推進	社員の健康の保持増進	社員の健康意識を高め、もって継続的に生産性の向上及びワークライフバランスを維持できる環境に取り組んでいきます	産業医との連携	定期健康診断/ストレスチェック結果等の共有を通して専属産業医とのコミュニケーションを深め、社員の健康意識向上ならびに生産性の向上に努めていきます	・2030年までにストレスチェック実施率100%を維持できる環境を整える ・月平均残業時間を20時間以内に維持する	
				長時間労働管理	長時間労働を未然に防止するため、イエローカード、レッドカード制度を導入し、長時間労働管理を徹底していきます		
	安全で働きやすい職場づくり	労働安全衛生	産業医と連携して職場環境改善に努めるとともに、防災訓練（避難訓練）等を通して安全で働きやすい職場づくりに取り組んでいきます	職場環境改善	産業医の職場巡視等を通して専属産業医とのコミュニケーションを深め、職場環境改善に努めていきます	衛生委員会からの改善案からの実行件数＋12件/年　（月1件）	
				防災対策	災害発生時においては人命確保を最優先とし、防災訓練、安否確認システムの等訓練を定期に実施するほか、防災グッズを配布して社員の防災意識の向上にも努めていきます		
G	公正な事業活動の推進	コンプライアンスの徹底	医薬品開発に求められる高い倫理感や科学的厳正さを保ち、公正で透明性の高い事業活動を維持していきます	コンプライアンスリスクの管理	各国の法令を遵守し、正当な手順に則った事業活動を行い、事業の透明性を維持します。 定期的な教育を通じ、役職員のコンプライアンス意識の醸成に努めていきます。	・コンプライアンスリスク評価の実施（1回/年） ・コンプライアンス研修の受講率100%	
	リスクマネジメントの強化	情報セキュリティの強化	当社は当社の保持する情報の重要性を理解し、改竄・漏洩等のリスクに適切な対策を施し、セキュリティ強化に努めます	情報セキュリティマネジメントシステムの運用 個人情報保護マネジメントシステムの運用	情報セキュリティマネジメントシステム/個人情報保護マネジメントシステムを構築し、当社の取り扱う情報資産の保護対策を徹底します	・情報セキュリティリスク評価の実施（1回/年） ・情報セキュリティ教育の受講率100% →情報セキュリティ教育 →個人情報保護に関する教育	
		事業継続計画	最新の情報に基づきリスクを特定し、事業継続計画に反映することで事業停止リスクを軽減します	事業停止リスクの特定と対策	当社を取り巻く環境の変化について常に情報収集を行い、事業停止リスクから受ける影響を最小限にとどめる様、事業継続計画の維持・更新に努めていきます	・事業停止リスクの評価（1回/年） ・事業継続計画の見直し（1回/年） ・事業継続計画の教育（1回/年,目標受講率：100%）	
E	持続可能な地球環境への貢献	GHG排出量抑制	当社の事業から発生する温暖化ガス排出量の削減に努めます	温暖化ガス排出量の削減	事業から発生する温暖化ガス排出量を測定し、排出量削減計画を作成します 計画に基づき段階的に温暖化ガス排出量を削減します	・2030年までに当社のScope1,Scope2 GHG排出量を2024年度実績の42%まで削減する ・2030年までに当社のScope3 GHG排出量を2024年度実績の25%まで削減する ・サプライチェーンにおける環境問題に関する社員教育の実施（GHG排出）（目標受講率：100%）	
		エネルギー消費管理	持続可能な社会の実現のため、利用エネルギーの削減・転換に努めます	エネルギー消費量の削減	事業所で使用する機器につきエネルギー消費量の少ない機器に更新していきます 事業所で利用するエネルギーにつき再生可能エネルギへと転換していきます	・2030年までに当社事業所で使用するエネルギーの50%を再生可能エネルギーへ転換する。 ・サプライチェーンにおける環境問題に関する社員教育の実施（GHG排出）（目標受講率：100%）	
		資源の有効活用 （リサイクル）	持続可能な社会の実現のため、廃棄物の削減に努めます	3R活動の推進	環境配慮型製品の使用、社内リユース、外部リサイクル機関、フードバンクへの寄付などを通じ廃棄物の削減に努めます	・社内3R活動への取り組みに関する啓蒙教育（目標受講率：100%） ・サプライチェーンにおける環境問題に関する社員教育の実施（廃棄物削減）（目標受講率：100%）	

2025年4月1日　発行